

歯科保存学（1）A・B

【前期】4 年：火 3 【後期】3 年：木 1

保坂啓一・中西正・菅俊行・細川義隆・細川育子・武川大輔・細川由樹・米倉和秀・蔵本瞳・伊田百美香

ここで紹介された資料は**蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。

（同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください）

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

【保存修復学】

□ **手に取るようにわかるコンポジットレジン修復のメソッド**／保坂啓一，畑山貴志，医歯薬出版．2022．

→ 初学者から熟練者まで，コンポジットレジン修復を合理的にレベルアップするためのテクニックをビジュアルで解説

<https://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784263446515>

【497. 69 | |Sh】

□ **コンポジットレジン修復の効率 UP** / 宮崎真至編著，秋本尚武，保坂啓一著．医歯薬出版．2020

→ 高頻度歯科治療であるコンポジットレジン修復を効率化する上で必要な器材の使いこなしや臨床的勘所を解説している

□ **保存修復学 21 第 5 版** / 田上順次 [ほか] 監修/阿南壽 [ほか] 編集．永末書店，2017

→ 保存修復学のテキストとして最も支持されている参考書。

□ **Sturdevant's art and science of operative dentistry, 7th ed.** / M o s b y, 2017

→ 世界中で読まれている保存修復学のバイブル

□ **Restoring with flowables** / Douglas A Terry. Quintessence, 2017

→ 最も有名な審美修復歯科医の一人である著者がフィラーを高密度に分散したインジェクタブル CR の様々な使用法をたくさんの美しい写真とともに解説している。

【497. 4 | |Ho】

□ **接着歯学 第 2 版** / 日本接着歯学会，医歯薬出版，2015

→ 接着治療・接着研究の正確な情報を提供する，臨床家，研究者ともに必携の図書

【497. 4 | |Se】

□ **保存修復学 第 7 版**/千田彰 編集代表/宮崎真至・林美加子・向井義晴・斎藤隆史 編集委員
医歯薬出版株式会社 2019

→ 決定版としての評価を確立した保存修復学テキスト

オールカラーの誌面より，ビジュアルに学ぶことができます。

【497. 4 | |Ho】

【歯内治療学】

□ エンドドンティクス, 第4版 / 異地隆史, 須田英明, 中村洋編集主幹 ; 阿南壽 [ほか] 編. 永末書店, 2015

→ 基本的な手技から最新の診断・治療方法にいたるまで歯内療法全般にわたって解説した参考書。

【497.2 | En】

□ 歯内治療学, 第5版/勝海一郎 [ほか] 編 / 勝海一郎 [ほか] 執筆. 医歯薬出版, 2018

→ 歯内治療の基本的な理論と技術を簡明に解説した参考書。

【497.2 | Sh】

□ 歯学生のための歯内療法学 / 加藤瀨編著. 医歯薬出版, 2000

→ 歯内療法に関する解剖, 病理, 診査, 診断, 治療法の基本的考え方を解説し, 実際の診査・診断と各種治療法について記述した参考書。

【497.2 | Sh】

□ Cohen's pathways of the pulp 12th ed. /edited by Kenneth M. Hargreaves, Louis H. Berman ; web editor, Ilan Rotstein. Elsevier, 2015

→ 提示症例数が豊富で, ワンランク上の歯内治療を目指す人には必読の書。

【497.2 | Pa】

□ 臨床根管解剖 : 基本的知識と歯種別の臨床ポイント / 木ノ本喜史著. ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2013 (歯内療法成功への道)

→ 多様な形態を示す根管のバリエーションをわかりやすいイラストにより歯種ごとに明示。

【497.2 | Ki】

□ 写真で見る歯根と根管の形態 / 岡本治 [ほか] 著. 医歯薬出版, 1983

→ 歯根と根管の解剖学的形態を把握しておくことは歯内治療における第一歩である。

【497.11 | 042】

Web

授業のテーマに関連したデータベースやサイトです

□ う蝕治療ガイドライン第2版【http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2015.pdf】

→ MI (Minimal Intervention) の理念を基盤にエビデンスに基づいたう蝕治療指針。

□ う蝕治療ガイドライン 第3版 根面う蝕の診療ガイドライン(2020年公開)

【http://www.hozon.or.jp/member/publication/guideline/file/guideline_2020.pdf】

□ → 超高齢社会の課題でもある根面う蝕治療に特化したエビデンスに基づくう蝕治療指針。

□ AIPC(非侵襲性歯髄覆罩)のガイドライン【<http://www.hozon.or.jp/data/whatsnew/iinkai6/250.pdf>】

→ AIPC (Atraumatic Indirect Pulp Capping) の適応症, 術式, 文献が書かれたガイドライン。